一般質問

市政を問う

定例会では、市政全般について議員から一般質問が行われます。今回は19人の議員が質問に立ち、41項目について行政の対応を質しました。掲載内容は、その要約です。　※発言順に掲載

会議録の閲覧と検索

質疑や答弁などの詳細は、会議録で全文を確認出来ます。
- ➢第4回定例会の会議録は、3月初旬から図書館・市政図書室で閲覧出来ます。
- ➢会議録検索システムは、3月初旬から市議会のホームページで利用出来ます。

インターネット中継

本会議および常任・特別委員会の様子を市議会ホームページからご覧ください。
- ➢開催日に生中継を配信します。
- ➢録画中継は、本会議当日の4日後（土曜・日曜日、祝日を除く）から配信します。
- ➢スマートフォンやタブレット端末からでもご覧いただけます。

1 須崎貴寛（自由民主党）

挑戦と組織力～日野市のPRと伝わる広報～

問　広報力強化に向けた動画を活用した発信は。

答　平成24年からSNSを運用した動画による情報発信をしていますが、短い動画はより多くの人が視聴する有効な手段です。今後も効果的で持続可能な発信を検討します。

2 島谷広則（チームみらい）

社会課題の変化に適応した住環境整備の充実を求める（リフォーム支援・空き家対策・置き配ボックスなど）

問　同居・近居支援の今後の方向性について問う。

答　現在、直接的な補助は未実施ですが、高齢社会に対応する地域コミュニティーの促進に向けて有効な施策を検討します。

地方公共団体の議会解散に関する特例法に基づき、約3年後の市長選挙と市議会議員選挙の同日開催を議会力で実現しよう！

問　令和7年4月に執行された市長・市議補欠選挙の人件費と労務状況は。

答　選挙に従事した人数は延べ778人です。従事時間は5千81時間、人件費は約2千万円です。

3 中野あきと（日本共産党）

何より暮らしと営業、教育・子育て支援、緑と清流のまちつくり！～これからの日野市政に求められていること～

問　物価高騰による介護現場や市立病院、課題は。

答　介護分野では他職種との賃金格差による人材不足、市立病院では人件費を含む費用増加に診療報酬が追いついていないことが課題です。

問　不登校児童・生徒への市の支援体制を問う。

答　多職種連携による子どもの負担軽減を進めています。多様な学びの体制を整えることを通して、子どもの主体的な学びや自立を支援します。

問　公共交通の維持、拡充への取り組みは。

答　全国的な課題であるとの賃金格差による人材不足、市立病院では人件費を含む費用増加に診療報酬が追いついていないことが課題です。

問　不登校児童・生徒への市の支援体制を問う。

答　多職種連携による子どもの負担軽減を進めています。多様な学びの体制を整えることを通して、子どもの主体的な学びや自立を支援します。

4 わたなべ三枝（日本共産党）

高幡台団地73号棟跡地問題の現状と今後について問う

問　公共施設の集約は。

答　状況変化や財政面を踏まえ、集約の構想は見直しが必要と認識します。

日野自動車工場跡地のデータセンター建設問題　市の指導書を無視した事業者の強行を許すな！

問　事業者からの見解書の提出状況を問う。

答　周辺住民が納得する見解書の提出をもって、正式に受理する予定です。

さらに暮らしと住環境が脅かされる日野自動車工場跡地の物流センター建設問題について問う

答　周辺住民の不安を取り除くため、引き続き丁寧な説明を行うよう事業者に指導します。

5 吉澤あかね（無会派）

小・中学生の1割が体調不良を経験　香害・化学物質過敏症のさらなる周知啓発を！

答　国や都の動向に注視しつつ、ホームページでの周知啓発を継続します。

新型コロナワクチンの検証は必須！　日野市が保有する情報の開示を求める

答　各課の管理する情報について開示を求められた場合は、条例に基づき対応します。

データセンター建設前後の環境変化の見える化と　評価体制の強化について

問　環境データの継続的な観測と情報公開は。

答　行政による観測やデータの活用は慎重な判断を要するため、引き続き事業者へ働きかけます。

6 ちかざわ美樹（日本共産党）

いま物価高騰対策に全力をあげるとき～くらし・営業・ケアの「崩壊」を防げ！

答　国や都を注視し、効果的な方法を検討します。

公共交通はくらし支える命づな。百草谷戸・程久保、住民の足確保について問う

答　住民ボランティア交通は検討中断中、ワゴンタクシー土日運行は実証実験で基準未達成でした。旧エプソン工場跡地のデータセンター建設計画について問う

答　条例に基づき協議指導します。

北川原公園を南北一体に整備し、全市民に愛され誇れる公園に

答　自然環境を生かした整備に取り組みます。

7 伊東秀章（無会派）

「小一プレクラス」について

問　市の見解と今後の検討について問う。

答　プレクラス制度の導入は、学年教員への相談のしやすさや迅速な組織的フォローなどを成果と認識しています。今後も調査・研究を続け、各校の実情に応じて円滑な学校生活への移行に向けて体制を整えます。

野良猫ゼロに向けて台東区の事例から学ぶこと

問　動物愛護週間を活用した市独自の地域猫活動について問う。

答　動物愛護週間は地域猫活動の機運を高める重要な機会です。現時点では、大規模に実施することは難しいですが、既存の仕組みを生かして動物愛護への関心を高める取り組みを進めます。

8 窪田知子（公明党）

健康ポイント事業と高齢者支援について

問　健康ポイント事業への参加に向けた市の取り組みについて問う。

答　市民ボランティアであるスマホお助け隊の協力もあり、市内4地域でスマートフォン使い方講座を実施しました。また、令和8年度はウォーキングアプリの登録や操作方法などの説明会を6回程度予定しています。

区画整理事業とまちづくりについて

問　豊田南地区駅前広場の整備に係る市の所見は。

答　重点整備事業として進めており、暫定的に利用しています。工事中の使えない場所ではなく、まちの余白として民間や地域と共に有効活用することで、まちの魅力を高め賑わいのあるまちづくりを目指します。

9 田原茂（公明党）

小・中学校の施設整備と教育負担が「か からない」日野市へ

問　教材費などの支援は。

答　一部の小・中学校では学校で購入し、児童・生徒に貸し出すなど保護者の負担軽減を図っています。引き続き、国の動向を注視し、対応します。

問　統廃合に向けた今後の検討について問う。

答　児童・生徒数、学級数などの推移を予測し、施設の状況やこれからの時代に求められる教育などを総合的に考慮して、方針を検討します。

問　給食調理室のエアコン全校設置に向けた市の見解について問う。

答　令和7年度に調査を実施し、一刻も早く設置に向けた検討を行いました。リースによる設置の見込みが立ったため、8年度の全校設置を目指し、準備を進めています。

10 新井ともはる（無会派）

24時間使える駅前返却ポストで通勤・通学者の利便性を高め、図書館を身近にする魅力ある日野を実現する

問　駅前返却ポストの設置に係る市の見解を問う。

答　利用者からの要望は認識しています。今後は他市の状況を把握し、設置の必要性や課題について、調査研究します。

街道から見える日野宿本陣へ、景観改善と保存・にぎわい両立を図る柔軟な活用の仕組みづくり

問　保存活用計画を問う。

答　今後10年の方向性を示す計画であり、外部委員を交え、パブリックコメントを募り策定します。上段の問は個人所有のため、保存を第一に、公開や活用は所有者の意向を尊重した上で検討します。

11 谷和彦（無会派）

みどりを残すために―緑被率について―

問　緑と清流のまち日野を守る方策を問う。

答　緑地信託制度による民有地の保全や大規模開発事業での公園提供など、緑の面積を維持する策を講じています。個人所有の緑地管理が困難であるなど面積の減少を踏まえ、みどりの基本計画改定時に方策を検討します。

登録有形文化財の活用について

問　国の登録有形文化財に登録予定の中央図書館について問う。

答　公共図書館建築のモデルとなった建物として、登録有形文化財となることを契機にその価値を市民に周知し、市の宝として末永く親しまれ、利用されるよう、建物の保存と図書館サービスの充実を図ります。

12 奥野りん子（無会派）

百草・倉沢地域の課題解決のために古賀市長が陣頭指揮を執るよう求める！

問　幹線市道Ⅱ-13号線北側部分の拡幅を問う。

答　関係者協議を踏まえ、平成24年度に待避所を設置しましたが、拡幅には土地所有者の協力が必要なため、庁内での議論と関係土地所有者の意見を基に、慎重に対応します。

問　百草園通りのミニバスの運行について問う。

答　現在、運行に必要な車道幅員が確保されていない道路があるため、ミニバスの運行はできない状況です。しかし、ミニバス全車両に乗降者数カウントシステムを導入しており、システムを活用した既存のバス路線の再編を視野に入れ、地域の需要に合わせた効果的・効率的な地域公共交通網を検討します。

13 森沢美和子（チームみらい）

未来への継承と生命科学のソーシャルインクルージョン・AIとの共存～

問　行政職員のAI活用方法を問う。

答　テキスト生成AIによる文書作成・要約・企画立案などのほか、画像生成AIによるチラシ作成にも活用しています。

問　精神障害者に対する支援体制の継承を問う。

答　医療・福祉、相談支援機関などの関係団体と連携し、精神障害者が地域の一員として、安心して自分らしく暮らせるよう包括的に支援します。

問　身体の健康と社会の健康両立するまちづくりへの取り組みを問う。

答　多摩平の森の団地再生を契機とした、外出・交流を促す事業の推進などが、結果として両立の方向性に繋がっていると認識しています。

14 伊藤あゆみ（自由民主党）

幸せ奏でる日野づくり1期4年のあゆみ～実現・継続・未来～

問　手話言語条例の制定に向けた市の動きを問う。

答　さまざまな障害種別に対応する情報保障のガイドラインを策定後、関係団体などの意見を踏まえて制定を検討します。

問　女性視点に立った防災体制の展開を問う。

答　避難所における女性の安全安心を目指し、各指定避難所の女性職員配置や災害時の女性相談窓口の開設を検討します。

問　若手芸術家育成支援の継続・発展を問う。

答　継続的に①ホールひとりじめ事業②ロビーコンサートの開催③日野市出身アーティストのデータベースの活用に取り組み、今後策定する計画の中で発展させる取り組みを検討します。

15 鈴木洋子（自由民主党）

豊田南と西平山地域、3・4・24号線の一体的整備の推進を

問　工事再開に伴うメリットと今後について問う。

答　整備により、①道路ネットワークの強化②交通機関発展③防災機能充実などの効果があります。今後は、事業費や工程などを関連機関と協議の上、事業認可を再取得し、工事の再開を目指します。

より良い生活へ～市民の暮らしを支える経済的支援等を問う

問　重点支援地方交付金を活用した高齢者・子育て世帯への支援を問う。

答　国は食料品の物価高騰支援や事業者の賃上げ支援などの推奨事業を提示していますが、現状では交付限度額などの通知はありません。引き続き、国や都の動向を注視し、効果的手法を検討します。

16 峯岸弘行（公明党）

シティーセールスと観光振興策について

問　新選組のふるさと歴史館の駐車場増設を問う。

答　今後、敷地全体を見直す中で検討します。

問　ご当地マンホールの活用推進を問う。

答　下水道事業のPRや市内周遊性向上に期待し、他市を調査研究します。

終活相談のワンストップ窓口と終活サービスの導入を

答　令和8年2月に開催する終活をテーマとした講演会でニーズを把握し、取り組みの方向性や事業の在り方を検討します。

子育てしやすい魅力ある日野市へ

問　授乳室への搾乳マークの掲示について問う。

答　普及啓発の契機に、みらいくの調乳授乳室への掲示を準備しています。

17 白井なおこ（無会派）

市民目治をさらにすめるために～公文書管理条例の制定を～

問　公文書管理の課題と条例制定への市の見解は。

答　保存年限見直しなど必要な文書のみを適切に保管する仕組みの検討と、管理する職員の意識醸成が課題と認識しています。関係各課と連携し、課題を整理する中で条例制定の要否も検討します。

地域と共生するデータセンターを

問　事業者と住民協議の場について市の認識は。

答　住民の心配を理解し、良好な関係を構築するため、調整会での不調項目の合意形成に向けた協議を行うよう事業者へ指導しています。市民の立場を尊重し、事業者自らがその解決に努めるものと認識しています。

18 佐藤琢磨（無会派）

命と財産を守る、災害に強い日野市へ

問　地域特性の課題克服に向け関係機関と連携し、防災力向上に努めます。

答　土地利用のめどが立たないことを憂慮し、所有者と対応を検討します。

データセンターとの共存について

答　丁寧な協議を進め、早期のデータ開示と環境への配慮を求めます。

子どもに「向精神薬（コンサータなど）」を飲ませない発達支援について

答　服薬の有無にかかわらず、子どもの課題に応じた適切な支援が重要と認識しています。

「多摩テック跡地の未来」について再度問い、わくわくする日野へ

答　丁寧な協議を進め、早期のデータ開示と環境への配慮を求めます。

19 岡田じゅん子（日本共産党）

豊田駅南口の駅前広場計画について問う

答　建物の移転と区画道路整備の先行を考えます。

子どもの心の傷から学び、育ちを豊かに保障しよう！これからの不登校支援について

問　不登校初期の支援は。

答　予兆を早期発見し、児童・生徒の環境調整を行うことが重要です。相談件数増加を踏まえ、スクールソーシャルワーカーの適正配置に努めます。

日野市のひきこもり支援　新しいフェーズに入っている！今だからこそ、さらなる調査を！

問　支援への課題認識は。

答　支援の継続性や信頼関係の構築に向けた相談員の資質向上などが課題と認識しています。

政府等へ意見書

第4回定例会で可決された意見書は1件で、関係各関に送付しました。（全文は、市議会ホームページに掲載）

■脳脊髄液減少症医療改善に関する意見書

この病態は、脳脊髄液が何らかの原因で硬膜外腔に漏れ出し、または脳水などで髄液が減少してしまい、起立性頭痛、頚部痛、悪心、目まい、耳鳴り、聴覚過敏、光過敏、視機能障害、鬱、全身の倦怠感、ふらつき、高次脳機能障害などの症状が現れます。交通事故、転倒、整体、腰椎穿刺、スポーツ、遺伝疾患、脱水などで発症すると言われています。

更に原因不明の頭痛や目まい、倦怠感を訴えている不登校の児童・生徒や起立性調節障害と診断されたが治療しても改善しない児童・生徒の中には、脳脊髄液減少症が原因の可能性がありながらも通常の検査では診断が出来ず、専門医が髄液漏れの検査をして診断されるため発見が非常に難しいのが現状です。

その上、この病気の大変なところは、完治が無く長期間において症状が続き長期的ケアが必要とすることです。しかし、保険適用で長期間にわたり病態などをきちんと観察できる医師が在籍する医療施設が無い都道府県があるのが現状です。

こうした観点から、国においては、脳脊髄液減少症を十分認識され、医療体制を改善できるように記の措置を講じられるよう強く要請します。

①国の研究機関等において、難治性疾患の診断基準の確立を早急に行うとともに、治療方法の研究開発及び治療体制を整えること。

②脳脊髄液減少症のうち難治性の長期疾患を指定難病へ追加すること。

③各都道府県内に、脳脊髄液減少症の専門医が在籍し、診断及び治療の拠点となる医療機関を1か所以上確保すること。

④自賠責保険の脳脊髄液減少症に関する後遺障害等級の認定手続きとして、高次脳機能障害と同じように、専門医による認定システムの仕組みを構築すること。

⑤被害者やその代理人及び裁判所等が開示を求めた場合、自賠責保険において後遺障害等級認定を審査した際の根拠資料について、労災保険と同様に、開示される制度とすること。

主な議題

令和7年第4回定例会で審議された主な議題を紹介します（議案名は一部要約しています）。

●令和7年度一般会計補正予算（第5号）　可決

道路・公園設備などの補修整備や熱中症対策事業の実施、東京都人事委員会勧告を踏まえた一般職職員に係る人件費の増額など、早急に対応が必要なものに17億6千525万円を追加するものです。

●令和7年度一般会計補正予算（第4号）　可決

東京都人事委員会の勧告を踏まえ、会計年度任用職員に係る人件費の増額について早急に対応が必要なものに2億7千650万円を追加するものです。

●手数料条例の一部改正　可決

手数料、使用料等の設定に関するガイドラインに基づき、手数料の改定を行うなど条例の一部を改正するものです。

〈令和8年4月1日施行※一部を除く〉

●職員の修学部分休業に関する条例の制定　可決

地方公務員法第26条の2の規定による修学部分休業制度化のため、必要な事項を定めるものです。

〈令和8年4月1日施行〉

●一般職職員の給与に関する条例の一部改正　可決

東京都人事委員会の勧告を踏まえ、一般職職員の給与の改定を行うものです。

〈公布の日から施行〉

●道路占用料等徴収条例の一部改正　可決

手数料、使用料等の設定に関するガイドラインに基づき、道路占用料改定のため、条例の一部を改正するものです。

〈令和8年4月1日施行〉

●市立病院助産師及び看護師修学資金貸与条例の廃止　可決

市立病院において助産師および看護師に対して修学資金を貸与する制度について、平成28年度以降貸与実績がなく、今後も活用される見込みがないことから市立病院の地方公営企業法全部適用に際して条例を廃止するものです。

〈令和8年4月1日施行〉

●市立病院使用条例の一部改正　可決

市立病院の地方公営企業法全部適用に伴い、市長権限の業務について病院事業管理者の権限とするなど、条例の一部を改正するものです。

〈令和8年4月1日施行〉

●市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正　可決

公職選挙法施行令の改正に伴い、市議会議員および市長選挙における選挙運動用ビラ作成などの公費負担について、所要の改正を行うものです。

〈公布の日から施行〉

●交流センター指定管理者の指定（万願寺交流センター）　可決

●多摩平の森産業連携センター指定管理者の指定　可決

地方自治法第244条の2第3項の規定により、万願寺交流センターの指定管理者に特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会、多摩平の森産業連携センターの指定管理者に株式会社タウンキッチンを指定するものです。

〈令和8年4月1日から令和13年3月31日まで指定〉

●地区センター指定管理者の管理する施設の変更　可決

都が実施する川崎街道の拡幅工事に伴い、拡幅予定地内に位置する三沢地区センター廃止のため、指定管理者の管理する施設から三沢地区センターを削除するものです。

●和解の締結及び損害賠償の額の決定　可決

地方自治法第96条第1項第12号および第13号の規定に基づき、学校における事故に係る和解の締結および損害賠償の額の決定について議会の議決を求めるものです。

全ての議案の審議結果は6面に掲載しています。

皆さんからの請願

第4回定例会では、2件の請願が新たに提出され、所管の常任委員会で審査が行われました。本会議の審議結果は、次のとおりです。

付託先	請願の件名	結果
企画総務委員会	日野市の投票環境向上に関する請願	不採択
民生文教委員会	非課税世帯や生活保護など経済的困難を抱えた世帯に対し、エアコン設置費用および夏冬のエアコン使用料金に相当する支援金給付を求める請願	不採択

請願・陳情

請願・陳情の提出方法は、ホームページにも掲載しています。詳しくは、合議会事務局へお問い合わせください。

請願・陳情の仕方QRコード▲（市HPより）